

バージョン 6.0.1



製品概要

お願い

本書および本書で紹介する製品をご使用になる前に、7 ページの『特記事項および商標』に記載されている情報をお読みください。

本書は、IBM WebSphere Business Monitor 製品のバージョン 6.0.1 (5724-M24)、および新しい版で明記されていない限り、以降のすべてのリリースおよびモディフィケーションに適用されます。

本マニュアルに関するご意見やご感想は、次の URL からお送りください。今後の参考にさせていただきます。

<http://www.ibm.com/jp/manuals/main/mail.html>

なお、日本 IBM 発行のマニュアルはインターネット経由でもご購入いただけます。詳しくは

<http://www.ibm.com/jp/manuals/> の「ご注文について」をご覧ください。

(URL は、変更になる場合があります)

お客様の環境によっては、資料中の円記号がバックスラッシュと表示されたり、バックスラッシュが円記号と表示されたりする場合があります。

原 典： WebSphere Business Monitor
Product overview
Version 6.0.1

発 行： 日本アイ・ビー・エム株式会社

担 当： ナショナル・ランゲージ・サポート

第1刷 2006.4

この文書では、平成明朝体™W3、平成明朝体™W7、平成明朝体™W9、平成角ゴシック体™W3、平成角ゴシック体™W5、および平成角ゴシック体™W7を使用しています。この(書体*)は、(財)日本規格協会と使用契約を締結し使用しているものです。フォントとして無断複製することは禁止されています。

注* 平成明朝体™W3、平成明朝体™W7、平成明朝体™W9、平成角ゴシック体™W3、
平成角ゴシック体™W5、平成角ゴシック体™W7

© Copyright International Business Machines Corporation 2005, 2006. All rights reserved.

© Copyright IBM Japan 2006

目次

WebSphere Business Monitor 概要 . . . 1

モニター・サイクル 2

コンポーネント 2

 モニター・サーバー 2

 ダッシュボード 3

データベース 4

Adaptive Action Manager 4

Schema Generator 5

特記事項および商標 7

WebSphere Business Monitor 概要

WebSphere® Business Monitor バージョン 6.0.1 は、ビジネス・パフォーマンスの測定、プロセスとワークフローのモニター、およびビジネス・オペレーションについての報告を行う Web ベースのクライアント/サーバー・アプリケーションです。ここで集められた情報は、問題の識別、障害の修正、およびビジネスの効率化を達成するためのプロセスの変更に使用されます。

WebSphere Business Monitor は、イベントを発行するランタイム・エンジンをモニターすることで、実行時にビジネス・プロセスをモニターします。現在サポートされているのは、WebSphere Process Server バージョン 6.0.1 で稼働するアプリケーションのみです。

WebSphere Business Monitor は、所定のモデルに基づいて、収集されたイベントを使用してキー・パフォーマンス・インディケーター (KPI) とメトリックを計算します。計算された KPI とメトリックの値は、ビジネスの必要性に応じて多数のビューに表示されます。WebSphere Business Monitor は、ユーザーの注意を必要とする問題をユーザーに通知し、障害を回避するための修正処置も実行できます。定義された条件と関連付けられたシチュエーションとアクションに対して、さまざまな通知メソッド (アラート、E メール、携帯電話、ページャー、およびサービス呼び出し) がサポートされています。

WebSphere Business Monitor は、そのモニター手順において、ビジネス指標モデルに依存します。これらのモデルは、ビジネス指標エディター で作成されます。ここでは、測定ポイントとイベント・フィルターを指定し、測定、それらの相関、およびビジネス・データのソースを定義できます。ビジネス指標モデル が完了すると、WebSphere Business Monitor にエクスポートできます。その後、モニターするモデルと、受信イベントからキャプチャーされる測定が認識されます。

ユーザーは ビジネス指標エディター を使用して、WebSphere Business Modeler で作成されたプロセス・モデルをオープンし、ビジネス指標モデルを作成します。それぞれのビジネス指標モデルに対して、メトリックと KPI、イベント発行ポイント、イベント・フィルター、イベント構成規則、および実行時に特定のアクションをトリガーするシチュエーションを定義できます。

つまり、ビジネス・オペレーションをモニターするために WebSphere Business Monitor は以下の処理を行います。

- オペレーション・アクティビティから得ることができるイベントを使用して大量のデータをキャプチャーし、メトリックと KPI 値に変換する
- ビジネス・データから測定変数を抽出する
- 使いやすいビューに測定値を表示する
- 分析とレポートを提供する
- 修正処置を実行する
- 障害を回避するための処置をとるようにユーザーに通知する

モニター・サイクル

ビジネス・オペレーションのモニターにおいて、WebSphere Business Monitor は、ビジネス指標モデルで表されるビジネス・モデルを使用します。

以下の概要で、ビジネス・モデルの表現からメトリックと KPI 値のモニターまでの、モニター・プロセスの手順を示します。

1. WebSphere Business Modeler を使用して、組織内のビジネス・ワークフローのモデル化と測定可能なエンティティの指定を行うことにより、ビジネス・モデルを表現します。
2. WebSphere Business Modeler のコンポーネントであるビジネス指標エディターで ビジネス指標モデルを作成します。

ビジネス・モデルに基づいてビジネス指標モデルが作成され、アクティビティ、イベント発行ポイント、イベント・フィルター、イベント構成規則、およびシチュエーション間の相関が指定されます。ビジネス指標エディターは、測定する KPI とメトリックの定義も行います。

3. ビジネス指標エディターからビジネス指標モデルをエクスポートします。
4. Schema Generator を使用して、WebSphere Business Monitor 管理コンソールを使用することで、エクスポートされたビジネス指標モデルをオープンします。
5. ビジネス指標モデルのデータベース・スキーマと関連成果物を生成します。
6. 生成された成果物に応じて WebSphere Business Monitor データベースを構成します。
7. 管理コンソールの「モデルのインポート」ページを使用して、ビジネス指標モデルを WebSphere Business Monitor にインポートします。
8. WebSphere Portal 管理コンソールを使用して、WebSphere Business Monitor ダッシュボードを構成します。
9. WebSphere Business Monitor ダッシュボード・ビューを使用して、メトリックと KPI の値の変更をモニターします。

コンポーネント

WebSphere Business Monitor のメインコンポーネントは互いに連動し、ビジネス・オペレーションの理解に不可欠な情報の管理、保管、および表示を行います。

モニター・サーバー

モニター・サーバーは、WebSphere Business Monitor のメインコンポーネントです。コンテキストとイベントを管理します。

モニター・サーバーが実行する具体的なアクションは、以下のとおりです。

- イベントの受信
- プロセス・インスタンスの作成、読み取り、更新、および終了
- イベント処理に応じたプロセス・インスタンスのメトリック値の取得と保管
- プロセス用のランタイム・メトリック、ヒストリー・メトリック、および KPI 値のパーシスタンス

ダッシュボード

WebSphere Business Monitor バージョン 6.0.1 のダッシュボード・クライアント・コンポーネントにより、ユーザーは一連のビューを介してビジネス・パフォーマンスをモニターできます。

ダッシュボード・クライアントは、IBM® WebSphere Portal バージョン 5.1 の環境で作動します。それぞれのダッシュボード・ビューはポートレットとしてインプリメントされます。ダッシュボードは、ポートレットをポータル・ページにアSEMBルすることで作成されます。WebSphere Business Monitor ダッシュボード・クライアントを構成するには、ポータル・ページを作成し、そのページにビューのポートレットのセットを追加します。

ユーザーは、表示プロパティと内容に従って定義された一連のダッシュボード・ビューを介してモニター・データを表示できます。これらのビューは、ランタイム・データと履歴・データの両方をさまざまな形で表示します。より詳細なデータ分析を行うビューの場合は、DB2® Alphablox が使用されます。

ダッシュボード・ビューは、1 つ以上のダッシュボード・カテゴリによってサポートされる表示タイプです。この表示では、特定のロール固有の機能や役割の処理を対象としています。それぞれのビュー・タイプは、表示をカスタマイズするための多数の表示プロパティをサポートしています。ダッシュボード・ビュー・タイプは次のとおりです。

- **アクティブ・インスタンス:** 特定のプロセスのインスタンス、および選択されたビジネス指標のランタイム値を表示します。
- **レポート:** 一定期間にわたって集約されたメトリックの値を表やグラフで示すパフォーマンス・レポートを表示します。
- **スコアカード:** 主に管理者を対象としています。スコアカードは、管理者の関心が高い KPI をグループ化します。
- **キー・パフォーマンス・インディケーター (KPI):** 個々の KPI の詳細を表示します。
- **ゲージ:** KPI の制限値、または KPI の目標値と対比させた KPI の値を、自動車の速度計やタコメーターに類似したゲージ形式で視覚的に表します。
- **ディメンション:** ビジネス・パフォーマンス・データのマルチディメンション・ビューを表示します。任意の指標を分析して、そのディメンションに基づくパフォーマンスを表示できます。
- **アラート:** 特定のユーザーに対するアラート通知を表示します。
- **プロセス・ダイアグラム:** プロセス状況を示す視覚的なインジケーターにより、プロセス・グラフにプロセスの状況を表示します。インスタンスで実行されたアクティビティを強調表示することで、特定のプロセス・インスタンスの状況をプロセス・グラフに表示することもできます。
- **組織:** LDAP などのユーザー・レジストリーから組織情報と従業員情報を取得します。レポート・ビューのデータのフィルターに使用する組織、または従業員の集合を選択できます。

- **値のエクスポート:** 選択されたビジネス指標モデルに対する平均値をエクスポートすることで、プロセスの情報をさらに分析および操作できるようにします。その後、これらの値を WebSphere Business Modeler にインポートし、ビジネス・プロセスの継続的な改善に利用できます。

データベース

WebSphere Business Monitor のデータベースは、イベント処理のための情報をモニター・サーバーに提供し、ビュー用の情報をダッシュボードに提供する、データ・ストレージ・コンポーネントです。

WebSphere Business Monitor には 5 つのデータベースがあります。

- **状態:** すべてのビジネス指標グループの現行の状態に関する情報を保管します。このデータベースは、モニター・サーバー・コンポーネントによってイベント処理のために使用されます。
- **ランタイム:** 実行中のモニター・コンテキスト・インスタンス、および対応するメトリックと KPI を保管します。これらは、ダッシュボードがビュー用に情報を取得する場合、また Action Manager がアラート通知を保管する場合に使用されます。
- **ヒストリー:** 完了済みおよび実行中のすべてのモニター・コンテキスト・インスタンスのデータを保管します。ダッシュボードは、IBM DB2 Alphablox とともに、これを使用して拡張データ分析を実行します。
- **リポジトリ:** デプロイされたビジネス指標モデルの定義、およびその他のデータベースからの他の WebSphere Business Monitor 情報を保管します。
- **アクション・カタログ:** Adaptive Action Manager コンポーネントで定義されるアクション・サービスを保管します。

Adaptive Action Manager

Adaptive Action Manager コンポーネントは、モニター・サーバーが発行するシチュエーション・イベントを受信します。このコンポーネントは、ユーザーによって設定されるシチュエーションとアクションとの間の事前定義バインディングに基づいて適切なアクションを選択し、1 つ以上のアクション・サービスを呼び出します。

WebSphere Business Monitor によって実行されるアクションは 2 つのメインカテゴリに分類されます。

- **通知アクション:** それぞれのタイプのメディアに対して定義された条件に従って通知をディスパッチするアクションのグループです。サポートされる通知タイプは次のとおりです。
 - **E メール:** E メール通知を送信します。これらは、Java™ Mail API を使用して送信されます。
 - **ページャー:** E メールでユーザーのページャーに通知を送信し、特定のシチュエーションを通知します。
 - **携帯電話:** 特定のシチュエーションについて、E メールでユーザーの携帯電話に通知します。
 - **アラート:** ダッシュボード・ビューにアラート通知を送信し、表示します。
- **サービス呼び出しアダプティブ・アクション:** ランタイム・エンジン API を使用して、プロセス・インスタンスを作成および開始します。プロセスの名前と作成

に必要なデータは、アダプティブ・アクション構成で定義されます。サポートされるサービス呼び出しは次のとおりです。

- Web サービス呼び出し
- Web サービス呼び出しを経由する BPEL プロセス

Schema Generator

Schema Generator は、ビジネス指標モデル用の WebSphere Business Monitor データベース環境を管理する WebSphere Business Monitor コンポーネントです。

このコンポーネントは、それぞれのビジネス指標モデルに固有のデータベース表の作成に必要なスクリプトを生成します。このコンポーネントは、各モデルについて必要な DB2 Cube Views の定義を生成することで、マルチディメンション分析環境も管理します。また、Schema Generator は、異なる WebSphere Business Monitor データベース間で情報を移動するためにレプリケーション・サービスが必要とするレプリケーション・スクリプトも定義します。

これらの機能は、WebSphere Application Server 管理コンソールの WebSphere Business Monitor 管理コンソール拡張機能に含まれる Schema Generator の各パネルを使用してインプリメントされます。

特記事項および商標

特記事項

本書に記載の製品、サービス、または機能が日本においては提供されていない場合があります。日本で利用可能な製品、サービス、および機能については、日本 IBM の営業担当員にお尋ねください。本書で IBM 製品、プログラム、またはサービスに言及していても、その IBM 製品、プログラム、またはサービスのみが使用可能であることを意味するものではありません。これらに代えて、IBM の知的所有権を侵害することのない、機能的に同等の製品、プログラム、またはサービスを使用することができます。ただし、IBM 以外の製品とプログラムの操作またはサービスの評価および検証は、お客様の責任で行っていただきます。

IBM は、本書に記載されている内容に関して特許権 (特許出願中のものを含む) を保有している場合があります。本書の提供は、お客様にこれらの特許権について実施権を許諾することを意味するものではありません。実施権についてのお問い合わせは、書面にて下記宛先にお送りください。

〒106-0032

東京都港区六本木 3-2-31

IBM World Trade Asia Corporation
Licensing

以下の保証は、国または地域の法律に沿わない場合は、適用されません。

IBM およびその直接または間接の子会社は、本書を特定物として現存するままの状態を提供し、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任を負わないものとします。国または地域によっては、法律の強行規定により、保証責任の制限が禁じられる場合、強行規定の制限を受けるものとします。

この情報には、技術的に不適切な記述や誤植を含む場合があります。本書は定期的に見直され、必要な変更は本書の次版に組み込まれます。IBM は予告なしに、随時、この文書に記載されている製品またはプログラムに対して、改良または変更を行うことがあります。

本書において IBM 以外の Web サイトに言及している場合がありますが、便宜のため記載しただけであり、決してそれらの Web サイトを推奨するものではありません。それらの Web サイトにある資料は、この IBM 製品の資料の一部ではありません。それらの Web サイトは、お客様の責任でご使用ください。

IBM は、お客様が提供するいかなる情報も、お客様に対してなんら義務も負うことのない、自ら適切と信ずる方法で、使用もしくは配布することができるものとします。

本プログラムのライセンス保持者で、(i) 独自に作成したプログラムとその他のプログラム (本プログラムを含む) との間での情報交換、および (ii) 交換された情報の相互利用を可能にすることを目的として、本プログラムに関する情報を必要とする方は、下記に連絡してください。

*Lab Director
IBM RTP Laboratory
3039 Cornwallis Road
P.O. BOX 12195
Raleigh, NC 27709-2195
U.S.A*

本プログラムに関する上記の情報は、適切な使用条件の下で使用することができますが、有償の場合もあります。

本書で説明されているライセンス・プログラムまたはその他のライセンス資料は、IBM 所定のプログラム契約の契約条項、IBM プログラムのご使用条件、またはそれと同等の条項に基づいて、IBM より提供されます。

この文書に含まれるいかなるパフォーマンス・データも、管理環境下で決定されたものです。そのため、他の操作環境で得られた結果は、異なる可能性があります。一部の測定が、開発レベルのシステムで行われた可能性があります。その測定値が、一般に利用可能なシステムのもと同じである保証はありません。さらに、一部の測定値が、推定値である可能性があります。実際の結果は、異なる可能性があります。お客様は、お客様の特定の環境に適したデータを確かめる必要があります。

IBM 以外の製品に関する情報は、その製品の供給者、出版物、もしくはその他の公に利用可能なソースから入手したものです。IBM は、それらの製品のテストは行っておりません。したがって、他社製品に関する実行性、互換性、またはその他の要求については確証できません。IBM 以外の製品の性能に関する質問は、それらの製品の供給者をお願いします。

本書には、日常の業務処理で用いられるデータや報告書の例が含まれています。より具体性を与えるために、それらの例には、個人、企業、ブランド、あるいは製品などの名前が含まれている場合があります。これらの名称はすべて架空のものであり、名称や住所が類似する企業が実在しているとしても、それは偶然にすぎません。

IBM の将来の方向または意向に関する記述については、予告なしに変更または撤回される場合があります、単に目標を示しているものです。

著作権使用許諾

本書には、様々なオペレーティング・プラットフォームでのプログラミング手法を例示するサンプル・アプリケーション・プログラムがソース言語で掲載されています。お客様は、サンプル・プログラムが書かれているオペレーティング・プラットフォームのアプリケーション・プログラミング・インターフェースに準拠したアプリケーション・プログラムの開発、使用、販売、配布を目的として、いかなる形式においても、IBM に対価を支払うことなくこれを複製し、改変し、配布することができます。このサンプル・プログラムは、あらゆる条件下における完全なテストを経ていません。従って IBM は、これらのサンプル・プログラムについて信頼性、利便性もしくは機能性があることをほめめかしたり、保証することはできません。

プログラミング・インターフェース情報

プログラミング・インターフェース情報が提供される場合、このプログラムを使用してアプリケーション・ソフトウェアを作成する際に役立ちます。

一般使用プログラミング・インターフェースにより、お客様はこのプログラム・ツール・サービスを含むアプリケーション・ソフトウェアを書くことができます。

ただし、この情報には、診断、修正、および調整情報が含まれている場合があります。診断、修正、調整情報は、お客様のアプリケーション・ソフトウェアのデバッグ支援のために提供されています。

警告: 診断、修正、調整情報は、変更される場合がありますので、プログラミング・インターフェースとしては使用しないでください。

商標

以下は、IBM Corporation の商標です。

IBM

IBM (logo)

WebSphere

DB2

Tivoli

MQSeries

AIX

z/OS

Microsoft、Windows、Windows NT、および Windows ロゴは、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標です。

Intel、および Pentium は、Intel Corporation の米国およびその他の国における商標です。

UNIX は、The Open Group の米国およびその他の国における登録商標です。

Linux は、Linus Torvalds の米国およびその他の国における商標です。

Java およびすべての Java 関連の商標およびロゴは、Sun Microsystems, Inc. の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

他の会社名、製品名およびサービス名等はそれぞれ各社の商標です。